

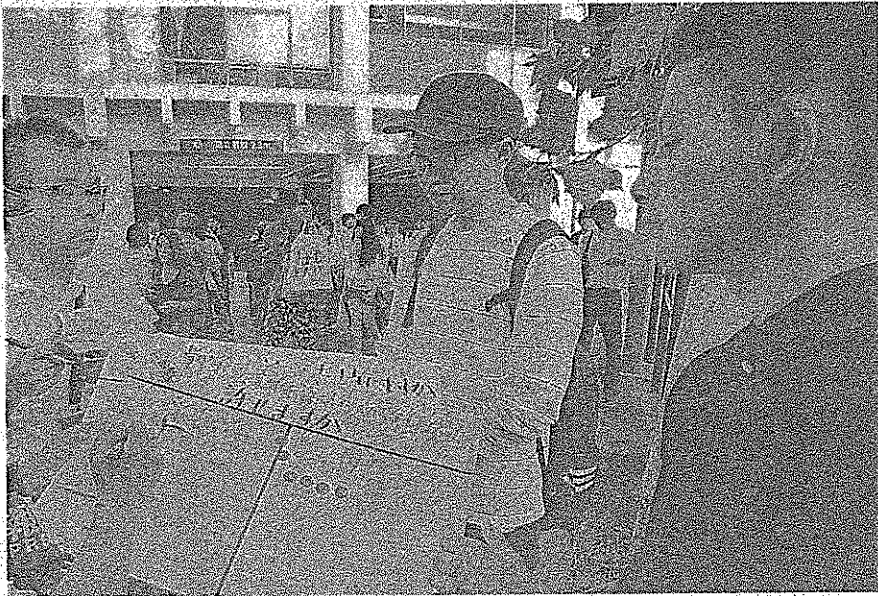
戦争法廃止の政府を

“提案 応援します”

東京・渋谷 3児のママも歓迎

憲法違反の戦争法（安保法制）の採決が19日未明に強行されたのをうけて、本紙は同日午後、東京・渋谷駅前でシールアンケートにとりくみました。日本共産党の志位和夫委員長が同日発表した「戦争法（安保法制）廃止の国民連合政府」実現のよひかけについても歓迎の声を寄せられました。

（原田浩一明、矢野昌弘）



「シールアンケート」に答える若者（左）東京・渋谷駅前

“ひっくり返さなきゃ”

社帰りに母親と国会前に行きました。自分より年下の人たちのSEALDs（シールズ）の活動に興味があります。学生が憲法前文の話をしたのは印象に残りました」と話し、①②ともに「NO」にシールを貼りました。

安倍さんノーに

アンケートは、①「戦争法（安保法制）進行」「成立」許せますか」に「YES」「NO」、②「安倍政権を支持しますか」に「YES」「NO」で問いかけてました。応じてくれた人たちのほとんどが「NO」でした。飲食業を営む牧本宏亮（まきもと・ひろあき）さん（59）は、①「強行」、②「安倍政権」とともに「NO」にシールを貼りました。「結局、日本はアメリカのヒモ付き。この法律で、自衛隊がアメリカの戦争の下請けにいくことになる」と話しました。

絶対に戦争反対

神戸市からきた女性（66）も「強行」「安倍政権」には「NO」のシール。「絶対に戦争反対。秘密保護法でなんでも隠されるから、安保法制がどんなふうに進んでいくかもわからない。国民の6割が反対しているのに、アメリカと約束しているからと通してしまう」と言います。会社員の女性（26）は「東京目黒区」は「昨夜も会

社員の女性（26）は「東京目黒区」は「昨夜も会

社、変わると思つ」と語りました。

9/20 手稿